

平成29年度中学校区福祉ネットワーク会議課題整理

テーマ	地域課題	解決に向けた手法(小プロ単位)	専門職と協働で取り組みたい課題	残された課題	
防災	①防災計画・防災訓練・消防訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練が数年に1回しか実施されないため、不安である。</li> <li>災害時に孤立化してしまう可能性もあるので、そうならないようにしたい。</li> <li>防災計画がないため、災害時にどうしたらいいかわからない。</li> <li>災害弱者の対応が弱い。</li> <li>防災訓練がなくなったので、心配である。</li> <li>防災防犯の行事への関心が低いため参加者が少ない。</li> <li>連絡を取り合っで避難するシステム作りが必要である。</li> <li>災害時の安否確認の体制がないため、どうしたらいいかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災イベントの継続や、防災訓練をイベント化する。</li> <li>自主防災連合を立ち上げ、防災訓練を開催する。</li> <li>小さなブロックで防災マニュアルを作る。</li> </ul>		
	②避難場所・避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害の避難場所がない。</li> <li>災害時の避難場所、支援物資の到着場所がわからない。</li> <li>災害時に集まる場所、避難所になる場所がない。</li> </ul>			
	③災害時要支援者台帳(個人情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要配慮者(避難行動要支援者含む)名簿を自治会が受け取っていない。</li> <li>交流の少ない人への災害時対応の伝達する方法がない。</li> <li>要支援者への対応をどうしたらいいかわからない。</li> </ul>			
	④土砂災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂の流出が心配である。</li> <li>土砂災害のリスクが高い。</li> </ul>			
マンション	①自治会加入	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会にマンションごとに加入している所もある。</li> <li>自治会へ加入しないため、マンション住民との関係が取りにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウエルカムセット(自治会、老人会、コミスク、子ども会等の案内)を配布する。</li> <li>管理会社、販売会社と連携して、住民の自治会加入に協力してもらう。</li> <li>マンションの理事長に地域の会議に参加してもらう。</li> <li>行政からマンションへ「この期間に民生委員が訪問して、見まもり活動を実施すること」を通知してほしい。</li> <li>「民生委員が訪問しますので見守りを希望される方はご連絡ください」という周知をしてほしい。</li> <li>マンション建設時に集会所や交流スペースを設置してもらえるよう提案できないか。</li> </ul>		
	②交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション住人との交流が少ない。</li> <li>マンション内での交流が少ない。</li> <li>マンション内での夏祭りが中止になった。</li> <li>マンション住人が地域との交流に無関心である。</li> </ul>			
	③住民把握(特に高齢者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション内に孤立している世帯があるかもしれない。</li> <li>マンション内で支援を必要としている人の把握が難しい。</li> <li>セキュリティのあるマンションに住んでいる一人暮らし高齢者への訪問がしにくい。</li> </ul>			
	④集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンションの集会所をマンション住民以外が利用できない。</li> </ul>			
	⑤建設工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション建設や市住の動き、地域に与える影響などが気になる。</li> <li>県道沿いにマンション建設が進んでいるため、交通量が多く危険である。</li> </ul>			
自治会	①役員の高齢化・担い手・活動者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会役員や班長など自治会活動の担い手が少ない。</li> <li>自治会や福祉関係の活動に理解がなく、担う人が少ない。</li> <li>高学歴、有名企業に勤めていたような優れた人材がいるのに地域の活動に出て来ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信、提供の工夫(SNS、ITの利用等)をする。</li> <li>定年後すぐの方へ呼びかける。</li> <li>イベント参加者からスカウトする。</li> <li>自治会PRをしていく。</li> <li>コミスク、老人会、子ども会と連携して、運営のためのつながりを作っていく。</li> <li>世代間交流のイベントを開催する。</li> <li>アンケートを取って、内容を見直す。</li> <li>顔の見える関係作りのための挨拶、声かけをする。</li> <li>イベント委員会を立ち上げ、活性化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担ぎがいのある方がリーダーになると輪が広がる。</li> <li>定期的な集まりの場を作る。</li> <li>地域の人材バンクを作る。</li> <li>家庭状況により役割を軽減していく。</li> <li>ボランティア講座等で、担い手の研修をする。</li> <li>管理会社に連絡し、打ち合わせして、マンションの方針を聞く。行政もサポートしてほしい。</li> <li>管理会社、販売会社と連携して、住民の自治会加入に協力してもらう。</li> <li>行事に参加してもらうように働きかけていく。</li> <li>地域活動が楽しいということを周知していき、担い手や参加者を増やす。</li> <li>ふれあい元気の会とリンクする。</li> <li>若い方に地域活動に参加してもらうようにする。</li> <li>地域活動への参加の声掛けをする。</li> <li>ひとり一役活動推進事業を活用する。</li> <li>これまでのイベントを見直し、多世代交流のイベント(バーベキュー等)に変えていっている。市役所や専門職も参加して交流してほしい。</li> <li>多世代での交流を多く持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理的な問題があり、町がまとまりにくい。</li> </ul>
	②未加入(戸建て・マンション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンションの代表が自治会会合に来る所もある。</li> <li>自治会の活動に無関心であり、参加者が少ない。</li> <li>ワンルームマンションの住民が自治会活動に関心が低い。</li> <li>マンション、市住の住民の自治会加入が少ない。</li> <li>新築の建物の自治会参加数が少ない。</li> </ul>			
	③運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員が1年毎に変わるため、運営の維持が困難である。</li> <li>災害時要配慮者(避難行動要支援者含む)名簿を自治会が受け取っていない。</li> <li>伝統行事が少なくなってきたり、コミュニティが薄れてきている。</li> <li>自治会員の高齢化が進んでおり、運営が難しくなっている。</li> <li>自治会の活動を活性化させる必要がある。</li> <li>自治会に加入するメリットが感じられないため、運営参加が少ない。</li> <li>自治会、老人会、子ども会など横のつながりを作りたい。</li> </ul>			
	④イベント参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内清掃の参加者が減少してきているため、参加者を増やしたい。</li> <li>行事、自治会の参加率が低いと、より多くの人に参加してほしい。</li> <li>参加者が固定化してきているため、若い世代など多くの人に参加してほしい。</li> <li>自治会活動へ積極的に参加してもらえるように工夫する必要がある。</li> </ul>			
	⑤交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>近所でも顔がわからない人が多いが、顔の見える関係を作りたい。</li> <li>行事に出て来ない人が増えてきているため、出てきてほしい。</li> <li>人が集まれる場所がない。</li> <li>近所付き合いが希薄になってきている。</li> <li>地域の情報をもっと知りたい。</li> </ul>			

テーマ	地域課題	解決に向けた手法(小プロ単位)	専門職と協働で取り組みたい課題	残された課題	
子ども・高齢者	①少子化・高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化で空き家が増えた。</li> <li>・少ない年金でも入れる老人施設が足りない。</li> <li>・高齢になって駅近くへ引っ越してしまう人がいる。</li> <li>・子ども世帯が少ない。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童問題で未就学児が学区外に通っている。</li> <li>・小学校が遠い。</li> </ul>
	②地域参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は地域の組織に入りにくい。</li> <li>・行事、自治会の参加率低い。</li> <li>・近所でも顔が分からない。</li> <li>・子育て世代は忙しい。</li> <li>・人が集まれる場所がない。</li> <li>・世代を超えた交流の場がない。</li> <li>・定年退職された方が地域に出ない。</li> <li>・集会所の中の老人いこいの広場が使われていない。</li> <li>・子どもの外遊びが減少している。</li> <li>・子どもの年齢が違ふ方との関わりがなく、情報が少ない。</li> <li>・ラジオ体操等できる広場がほしい。</li> <li>・マンションへの勧誘方法がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の得意分野を活かす企画を立てる。</li> <li>・顔の見える関係作りのためのあいさつ運動、夜回りを行う。</li> </ul>	7	
	③高齢者把握(閉じこもり・独居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に出て来ない人が増えてきている。</li> <li>・外出できなくなった高齢の方との接触が難しくなった。</li> <li>・高齢者の日常が見えない。</li> <li>・高齢者の把握が難しい。</li> <li>・高齢で家に閉じこもっているところが増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡先を把握する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護の問題がある。</li> </ul>
	④子ども会、老人会、コミスクの運営・担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミスク主催は盛り上がるが、町レベルで何かできないか。</li> <li>・子ども会がなく、行事の運営するスタッフが限られている。</li> <li>・老人会の後継者が少ない。</li> <li>・少子化による子ども会の弱体化が心配である。</li> <li>・コミスクの運営メンバーの確保が難しい。</li> <li>・コミスク会員の減少している。</li> <li>・子ども会の人数が減った。</li> <li>・老人会に入る人が少ない。</li> <li>・自治会、老人会、子ども会のつながりが薄くなっている。</li> <li>・地域の子どもの把握ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流(老人会、子ども会の交流)のイベントを開催する。</li> <li>・コミスク、老人会、子ども会と連携していく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流する場を提供してほしい。</li> </ul>
	⑤高齢者のゴミ出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のゴミ出しが難しい人が曜日を間違ふなど課題がある。</li> <li>・パイプラインの撤廃で、ゴミ出しをしたことのない住民の対応が難しい。</li> </ul>			
	⑥登下校の見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全確保、交通量が多く危険である。</li> <li>・施設の送迎車が道路をふさぎ下校時の子どもが車道を歩くこととなつて、車にクラクションを鳴らされ困っている。</li> </ul>			
	⑦支援者の高齢化、担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助が必要な人を高齢のスタッフが行うため、負担となつてきている。</li> </ul>			
	⑧居場所作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で遊ぶ子どもが少ない。</li> <li>・雨の日集会所開放(子ども)してほしい。</li> <li>・遊ぶ場所が少ない。</li> <li>・元気な高齢者の行き場所がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の利用を考える。</li> <li>・資源のPRを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流センターを利用しやすくしてほしい。</li> <li>・市住の集会所は住民しか使えないため、集まりの場がない。地域で使えるようにしてほしい。</li> <li>・個人宅を活用している居場所の取組を見に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが集まれる場(施設)がほしい。</li> <li>・集会所が遠い。</li> </ul>
ゴミ	①ゴミ屋敷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミが家の敷地内にある。</li> </ul>			
	②ゴミ出しマナー・片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しのルールを守らない人がいて困る。</li> <li>・ゴミの出し方を知らない人がいる。</li> <li>・ネットの片付け方が分からない人、協力しない人がいる。</li> <li>・歩道にゴミを置かないでほしい。</li> <li>・自治会未加入者がゴミ出しルールを守らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板を使って啓発する。</li> </ul>		
	③外国人のゴミ出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の方でゴミ出しルールを守らない、コミュニケーションが取れない。</li> </ul>			
	④高齢者のゴミ出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のゴミ出しが難しい人が曜日を間違ふなど課題がある。</li> <li>・パイプラインの撤廃で、ゴミ出しをしたことのない住民の対応が難しい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が困るので、パイプラインの撤廃について今後どうすればいいかなどもっと説明してほしい。</li> <li>・さわやか収集を利用する。</li> </ul>	
	⑤ペットの糞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後始末をしない人がいる。</li> </ul>			
空き家	①防犯・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が増えた。</li> <li>・防犯が心配である。</li> <li>・ゴミ(樹木)が積み重なっている家がある。</li> <li>・空き家の活用ができるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の利用を具体的に考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を活用する。</li> </ul>
外国人	①ゴミ出しマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の方でゴミ出しルールを守らない。</li> </ul>			
	②民泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例で決めてほしい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例を作る。</li> </ul>	
	③コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の転入者との言葉の壁でコミュニケーションが取れない。</li> <li>・外国の方でコミュニケーションが取れない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の住民に、母国語を教えてください。</li> </ul>	